

令和元年度 第1回 魚津市スポーツ推進審議会 議事録

日 時：令和元年6月26日（水）
午後6時30分から午後8時00分
場 所：魚津市役所第一分庁舎 会議室

出席委員：8名（石川、広瀬、木下、宮川、宮崎、小笠原、野口、八倉巻）
欠席委員：2名（荒川、下村）
事務局出席：5名（畠山教育長、政二課長、高森、横田）

- ・今年度委員改選年であることから、委員の委嘱を実施。
併せて、会長：石川 道範氏、副会長：広瀬 健一氏（共に再任）を選任。

次 第

- 挨拶 畠山教育長
- 報告、協議事項

1. 令和元年度スポーツ係関係事業計画について

主な意見

委員）桃山陸上競技場2種公認継続のために必要となる備品の予算の計上はいつごろ？

市）今年度に引き続き、来年度予算で、スポーツ振興くじの活用を予定。本市と同じく2種公認陸上競技場を有している小矢部市も、昨年度で芝生改良工事、今年度に備品購入をスポーツ振興くじで行っている。本市もそれに習って実施したい。

委員）桃山陸上競技場で例年開催している5月の小学校体育大会について。
来年の開催はどうなるか？（芝フィールドは使用しない。スパイクの使用もない。）

市）陸上競技場の芝生工事は、11月に工事開始。雪の具合もあるが、3月の終了を予定している。その後、冬から芝生の養生を予定している。養生期間についても、雪等の天候次第。いつまでに次年度の使用の是非を回答すればいいか？工事契約は7月中に予定しており、その後でいいか？

委員）8月までで、結構です。

委員）電源立地交付金は、毎年あるか？

市）今回の交付金は来年度までの5年間と聞いている。

市) ありそドームのトレーニングマシンについては、トレーニングルーム開所時から 20 年使用しており、交換部品もなく、老朽化も激しいので、交付金を活用し整備することとした。

2. 行財政改革推進委員会等における体育施設の今後の検討について

主な意見

委員) スポーツ、文化分野は予算がカットされ易い分野。魚津 2040 会議に負けないよう議論してほしい。

市) 行財政改革関連会議で議論されていることを、委員の皆様を知っていただきたい。学校体育館の利用実績については、従来は夜間の実績のみ。日中の利用実績について統計をとっているが、本年度より日中の調査も始めた。一般利用は有料化すべきとの意見はある。

委員) 有料化については、必要との意見も聞いているが、今までは具体的な金額が無く、ぼんやりとしていたが、今回例示を示してくれたので、イメージし易くなった。ただ実感としては、やはり高いなと感じた。

市) 光熱費がどうしても高い。LED に交換できれば、ランニングコストを下げる事が可能であるが、初期投資に高額な費用が必要となる。

委員) PFI 調査に 300 万円かける必要があるのか？PFI での整備事例は大規模都市だけである。魚津市の規模では、可能性は低いのではないかと。また、PFI の仕組みをもっと市民に説明すべきではないか。民間が建ててくれると勘違いしているのではないかと。

市) 全国的にみれば、10 万人規模の自治体等で成功事例があまりないことは認識している。PFI の取り組み議論なしに、建設の議論はできないとの判断で、今回委託を実施した。とにかく判断材料が必要である。埼玉県草加市でも同様の調査を実施し、公設民営化で整備との結果が出ている。できるかできないかを問わず、こうした結果を求め委託業務を行っている。

委員) PFI での整備は厳しいと思う。実現性は極めて低いのではないかと。

委員) プール建設において、何のために整備するのか、そういったことを整理して実施すべき。

市) 小中学校のプールの老朽化のこともある。プールの運営にも関係するが、学校のプール授業のあり方とも併せて検討すべきと考えている。

市) 市議会の公共施設再編整備特別委員会で、千葉県佐倉市、静岡県藤枝市に対する視察を予定している。佐倉市では、学校のプールの授業を、一部民間プールで実施する取り組みをしている。また、藤枝市は、施設の運営を近隣自治体と連携して実施するといった取り組みをしている。高森係長が同行する予定であり、結果については報告する。

委員) 施設の利用は土日が多い。週末は利用者でいっぱいである。類似施設があるから廃止との考えは危険でもある。

市) 総体の廃止を控えているが、バレー大会等で、市内体育施設をフルに活用して実施している大会もある。市外の体育施設を利用すればいいといった意見もあるが、そうした場合の対処は今後、各団体と協議していく必要がある。

委員) 新川文化ホールの稼働率も多くて 50%程度と聞いている。黒部、入善にも類似施設があり、どこも利用者増に苦慮していると思う。今後施設整備をしていく際には、他市との連携を考えていく必要がある。

少子高齢化が進んでいることから、ひとつの自治体で、いろいろな施設を持つのは厳しい。桃山陸上競技場も周囲の自治体と役割分担していく必要がある。

市) 桃山陸上競技場は、大会関係者等から高い評価を受けている。財政当局からも地域間連携を求められている。

3. 次回の開催について

市) 市の行財政改革の方針や新年度予算方針等がまとまる 10 月ころ、第2回の審議会の開催を予定。皆様の意見をできる限り新年度へ反映させたい。10 月の審議会の開催前でも意見等があれば、スポーツ係まで言ってほしい。

今後としても、審議会の意見を頂きながら、スポーツの振興を図っていきたいので、今後も引き続き、よろしく願いしたい。